2015年（平成27年）
5月13日
Elderly Press Newspaper
エルダリープレス ニュースペーパー
（毎週水曜日発行）
第349号

週刊 高齢者住宅新聞

（株）高齢者住宅新聞社　〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15　TEL.03-3543-6852（編集部）
http://koureisha-jutaku.com　発行人　西岡一紀　年間購読料 21,600円（送料込・税込）

地方都市

リハビリ型デイに美容院併設

体改善とおしゃれを

合同会社和佳（広島県三次市）が運営する短時間デイサービス「機能訓練型デイサービスリハ&サロンR」（同）は、美容院併設のデイ。マシンにより身体機能を高めるだけでなく、美容院を利用してもらうことで利用者の活力を引き出している。谷口桂子代表社員に話を聞いた。

合同会社和佳
谷口桂子
代表社員

▶内装にもこだわりカフェのような造りに

――介護事業を始めたきっかけを教えてください。

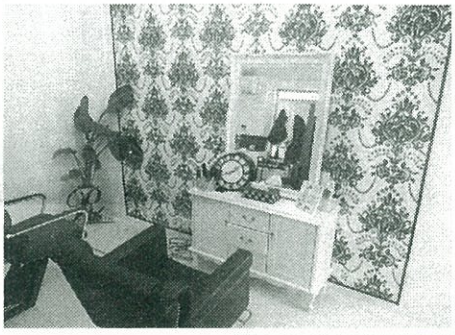
谷口　私は介護施設に勤めていたこともあり、息子は美容師、娘は柔道整復師でした。息子は介護施設で訪問理美容をする機会が多く、そこでは「美容院にあまり行けないから」という理由で女性でも刈り上げたりと、利用者が同じ髪型になってしまう場合が多かったようです。それに疑問を持った息子は介護を勉強し、特別養護老人ホームで3年間働きました。娘が福祉に目を向けていた時期も重なり、息子と娘の顧客をシェアできればと思い、当社を設立。三次市としても第1号リハビリ型デイとなる「機能訓練型デイサービスリハ&サロンR」を一昨年12月にオープンしました。

――なぜ機能訓練型のデイにしたのですか。

谷口　運動したい高齢者が多いことを知ったこと、更に病院のリハビリ環境に疑問を持ったこともあり、運動が主軸となる機能訓練型デイにしました。マシンはサロンオールディーズ（東京都中央区）販売のリハトレーナーを導入しています。運動量や自分のペースなどのデータが画面に表示され、利用者はその数字を見ながら運動できるため、モチベーションが上がります。また、個々の運動データの記録も容易に管理しやすいため、スタッフの業務負担軽減に繋がり、少ない人員でデイを運営することに成功しています。デイには美容院を併設し、そこで息子が利用者の髪を切っています。

――利用者はどのように美容院を利用するのですか。

谷口　一般客も受け入れていますが、美容院の顧客はデイ利用者がメインです。息子は介護スタッフとしても働いており、日々のデイ勤務中に利用者の髪の状態を見たり、要望を聞いたりしながら利用に繋げています。カットは1500円、カラーとパーマは3000円と手頃な価格を設定し、デイ利用時間外で美容院を利用してもらっています。美容院は無料送迎付きで家族からも好評です。利用者の昔の写真を見せてもらいその当時の髪型に近づけたり、デイ利用中に「次はこんな髪型にしてほしい」など気兼ねなく髪型の要望を聞けることが、普段から顔なじみの介護スタッフが美容師を兼務する特徴の1つです。数年振りにパーマをかけたり、「休日に出かけるから髪をきれいにしたい」など、利用者がおしゃれを楽しんでくれていることが、非常に嬉しいです。この強みを活かして、利用者の獲得に繋げていきたいです。



◀美容院内の様子